

令和元年度中国四国ブロック研修会報告

1. テーマ
災害時保健活動の受援のあり方～地域に責任を持つ活動の強化のために～
2. 開催日時
令和元年 8 月 3 日(土) 午後 1 時 15 分から午後 4 時 15 分まで
3. 会場
アスティとくしま 第2特別会議室
徳島県徳島市山城町東浜傍示1-1
4. 参加人数
72 名
5. 研修概要
 - ① 全国保健師長会活動報告
全国保健師長会 山野井尚美会長
 - ② 平成 30 年度地域保健総合推進事業費研究報告結果報告
災害時の保健活動の推進～マニュアルの改定に向けて～
全国保健師長会災害時保健活動特別委員会 相馬幸恵委員長
 - ③ 活動報告「災害時保健師等の受援調整を経験して～統括保健師の立場から～」
岡山県美作保健所勝英支所 西尾恵支所長
 - ④ 意見交換
「いつ起こるか分からない災害に備えて～各地域の取組の現状と課題～」
6. 参加者の感想
 - ① 全国保健師長会活動報告
 - ・ 歴史を知ることで、原点に立ち返り、先輩たちの思いを知ることができた。
 - ・ 普段の業務のことだけでなく、5 年後、10 年後といった長期的な展望を持つ大切さを感じた。
 - ② 研究報告
 - ・ 防災担当との話し合いはハードルが高いが頑張らないといけないと思った。
 - ・ 市町村と保健所が日頃から検討しておかねばならないと感じた。
 - ③ 活動報告
 - ・ 受援調整の大変さについて事例を通して聞くことができ、マニュアル改定への理解も深まった。
 - ・ 受援に関してイメージーションし、いざという時その場の状況を把握しアセスメントできるスピード感や判断力が必要なこと、日頃から訓練しておくことの大切さを実感した。
 - ④ 意見交換
 - ・ 時間は短かったが、有意義だった。
 - ⑤ 全体を通じて
 - ・ 身近で優先順位の高いテーマだったので、興味深く受講できた。

(報告者 中国・四国ブロック理事 野口環)